

國學院大學學術情報リポジトリ

女性主人公の経済小説におけることばの性差の実態について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国学院大学日本語教育研究会 公開日: 2024-11-20 キーワード (Ja): 経済小説, ことばの性差, 自称詞, 対称詞, 終助詞 キーワード (En): 作成者: 房, 夢丹 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001118

女性主人公の経済小説におけることばの性差の実態について

房 夢丹

【キーワード】 経済小説 ことばの性差 自称詞 対称詞 終助詞

1. はじめに

日本語では主に男性が使う傾向が強いことばを「男性語」と呼び、主に女性が使う傾向が強いことばを「女性語」と呼ぶ。「男性語」や「女性語」に見られる日本語の男女差は、日本語を特徴づけるものの代表格として従来取り上げられてきた（水本 2005 など）。語彙・語法の視点から見ると、日本語の性差は主に人称詞、文末表現、感動詞、敬語などに現れている。過去には、男性語と女性語が相互排他的な特性を持つことが一般的であった。しかしながら、以前は主に男性が使っていた表現を女性が使うようになり、日本語における性別による差は年代が下がるにつれて減少傾向にある（大谷 2015）。

小説や漫画、ドラマなどの非現実的な世界では、発言する人は誰なのか、登場人物の人物像を読者または視聴者に分かりやすくするため、職場などのフォーマルな場面においても現実よりもことばの性差が残存しやすい傾向にあるという報告もなされている（大谷 2015）。現実の企業や組織における会話は、企業秘密や個人情報の保護のため、録音・録画によって収集することが困難である（諸星 2013）。それに対して、経済小説はフィクションとはいえ、実在の企業を描いたモデル小説や現実味を持たせるために作家の企業経験や時代の変化を反映させたり、人物や企業の設定をリアルに描写するものが多く存在するため、特定の時代や社会における言語使用の変化と特徴を把握することができる。また、経済小説において、男性を中心人物とした作品では女性の登場頻度が低く、ことばの性差があまり目立たないが、女性を主人公とした経済小説ではことばの性差がより顕著に現れる。

そこで、本稿では、主人公が女性である日本の経済小説を調査資料にし、人称詞⁽¹⁾、終助詞の観点から、男女の発話におけることばの性差の使用実態を明らかにする。

2. 先行研究

2-1 話しことばの性差

小川（2006）は話しことばの性差に言及した従来の様々な先行研究を挙げ、男女差を示

す要素として終助詞（文末表現）、呼称など 10 要素をまとめている。このうち、終助詞はどの研究者も認めている男女差を顕著に表す要素であると指摘している。

山崎（2017）は五つのコーパス⁽²⁾を用いて、話者の性別、年代やレジスターの観点から、コーパス間の比較と性別、年代による比較を行い、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に収録されている小説のサンプルの会話文では「貴方（あなた）」「俺」「私」「君」などの代名詞と「わ」「よ」「ぞ」などの終助詞が上位に来ており、それ以外のコーパスでは感動詞と終助詞が特徴語となり、性差の違いのほうが年齢層の違いよりも特徴的な語数が多いことを指摘している。

2-2 日本の小説におけることばの性差

黒須（2008）は 1946 年から 2005 年にかけての計 60 作品の冒頭から男女各 100 発話ずつを調査し、現れた人称詞・文末詞・感動詞を年代ごとに比較し、「女ことば」と「男ことば」の差異と変遷について考察している。その結果、人称詞では、「女性的」な自称詞の種類が多く、また、「男性的」な対称詞の種類が多いこと、「非常に女性的」な文末詞の種類が圧倒的に多く、次に「非常に男性的」な文末詞の種類が多いこと、感動詞は性別による種類の偏りが見られないこと、また、現代に近づくにつれて、男性と女性が使用する人称詞、文末詞、感動詞の種類が増加しており、絶対的性差の見られる表現と、性差がほとんど見られない表現の二極化している傾向があることを明らかにしている。

郭（2015）は半沢シリーズ 4 冊の経済小説に使用される二人称代名詞を調査し、上下関係、親疎関係、使用場面の視点から 14 形式（単数形 5 形式、複数形 9 形式）の二人称代名詞の機能を考察している。その結果、二人称代名詞の敬意は「あなた→君→あんた→お前→貴様」の順に減っており、現代の経済小説では「あなた」「君」以外の二人称代名詞は敬意が低く、「あんた」「お前」「貴様」は相手をけなす意味があるが、場合によって親しみを示すときにも「あんた」「お前」が使われていると指摘している。

3. 研究方法

3-1 研究資料

城山三郎の短編小説『総会屋錦城』（1959 年）が経済小説の始まりと言われているため、1959 年から 2020 年にかけての主人公が女性である日本の経済小説を 10 作品（男性作家の作品と女性作家の作品を各 5 作品ずつ）取り上げ、男女の発話を調査し比較する。

作品を取り上げる条件については、一人の日本人作家によって執筆される作品、作家と出版される年代が同時代の作品、一人の作家の 1 作品、シリーズ作品は第一部を調査範囲とする。また、社員、社長など職階や地位が異なる女性を主人公とする作品を研究資料とし、職業が異なる女性主人公の経済小説におけることばの性差を考察する。

調査対象とする作品を以下の表 1 に示す。（以下、それぞれ『蝶』『凸凹』『合併』『型屋』『花咲』『無印』『投資』『ブック』『トッカン』『経費』と略称）

表 1 調査資料とする作品

番号	発行年	男性作家		番号	発行年	女性作家	
		作品名	作者			作品名	作者
1	1997	別名は“蝶”	清水 一行	6	1989	無印 OL 物語	群 ようこ
2	2005	凸凹デイズ	山本 幸久	7	2002	投資アドバイザー有利子	幸田 真音
3	2008	合併人事 二十九歳の憂鬱	江上 剛	8	2007	ブックストア・ウォーズ	碧野 圭
4	2015	わたし、型屋の社長になります	上野 歩	9	2010	トッカン 特別国税徴収官	高殿 円
5	2017	花咲舞が黙っていない	池井戸 潤	10	2016	これは経費で落ちません！ ～経理部の森若さん～	青木 祐子

3-2 調査方法

(1) 会話文の男女発話数を調査する。

各作品における会話文を取り上げ、男女別の発話文数と男女比率を比較する。作中の登場人物の発話が「 」で囲まれた部分を1発話として数える。ただし、取り上げた会話文には、以下の条件をつける。

- ①メール、ニュースなど、内容を引用するために「 」で囲まれた文を数えない。
- ②性別不明の発話は除外する。「医者」「看護師」など、作中でその性別が明記されておらず、名前から性別を推測することができない登場人物の発話を除く。「俺」「あら」といういわゆる「男性語」「女性語」が使われていても、それをもとに登場人物の性別を推測しない。
- ③男女同時に話す発話、独り言、方言、繰り返される同じ発話文を除く。

(2) 人称詞は男女別の自称詞と対称詞をまとめて比較し、その相違点を分析する。

(3) 終助詞はそれぞれの作品の各終助詞の使用数を数え、使用頻度を男女別に比較する。

調査対象とする経済小説の基本情報を表2に示す。

表 2 女性作家の作品の基本情報

発行年	作品	作者	発話数 (女/男)	登場人物の数 ⁽³⁾ (女/男)	主人公 (年齢, 職業)
1989	『無印』	群 ようこ	574 文/122 文	45 人/17 人	12 人の OL (20 代, 社員)
1997	『蝶』	清水 一行	733 文/973 文	4 人/20 人	宇佐美三千代 (32 歳, 副社長)
2002	『投資』	幸田 真音	848 文/734 文	4 人/14 人	財前有利子 (28 歳, 投資アドバイザー)
2005	『凸凹』	山本 幸久	892 文/1088 文	4 人/12 人	浦原風海 (22 歳, デザイナー)
2007	『ブック』	碧野 圭	934 文/549 文	10 人/18 人	北村(小幡)亜紀 (27 歳, 書店社員)
2008	『合併』	江上 剛	1123 文/954 文	8 人/14 人	大江日未子 (29 歳, 銀行員)
2010	『トッカン』	高殿 円	905 文/415 文	13 人/12 人	鈴宮深樹 (25 歳, 国税徴収官)
2015	『型屋』	上野 歩	853 文/1197 文	7 人/33 人	花丘明希子 (29 歳, 社長)

2016	『経費』	青木 祐子	731 文/166 文	10 人/6 人	森若沙名子（27 歳, 経理）
2017	『花咲』	池井戸 潤	734 文/1674 文	8 人/41 人	花咲舞（26 歳, 調査役）
合計			8327 文/7872 文	113 人/187 人	

4 人称詞

調査資料に見られる人称詞を以下のように分類する。

自称詞：わたし、私⁽⁴⁾、わたくし、あたし、われわれ、自分、ぼく、おれ、わし、こっち、こちら。

対称詞：あんた、あなた、きみ、おまえ、きさま、てめえ、フルネーム、名字、名前（ファーストネーム）、親族呼称、役職名⁽⁵⁾。

4-1 自称詞

今回のデータで得られた自称詞を整理し、男女用例数の合計数の多い順に並べ、各自称詞が男女別に使用される用例数と割合を図 1、表 3 に示す（同じ用例数の場合は五十音順で並べている。以下同じ）。男女別の自称詞の使用状況を図 2、図 3 に示す。

図 1 自称詞の種類と用例数

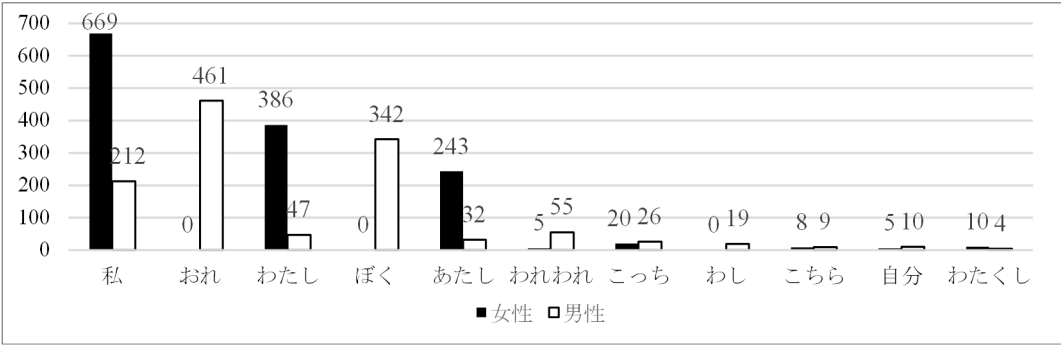


表 3 自称詞の用例数と男女別の使用率

自称詞	私	おれ	わたし	ぼく	あたし	われわれ	こっち	わし	こちら	自分	わたくし	合計
女性	669	-	386	-	243	5	20	-	8	5	10	1346
女性/合計(%)	76%	-	89%	-	88%	8%	43%	-	47%	33%	71%	53%
男性	212	461	47	342	32	55	26	19	9	10	4	1217
男性/合計(%)	24%	100%	11%	100%	12%	92%	57%	100%	53%	67%	29%	47%
合計	881	461	433	342	275	60	46	19	17	15	14	2563

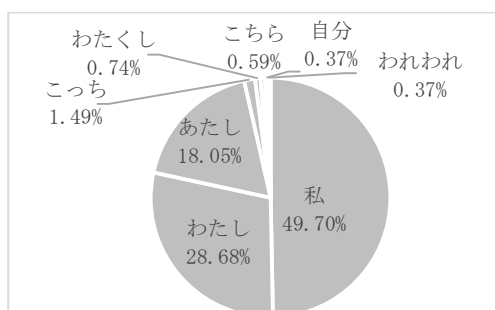


図2 女性の自称詞

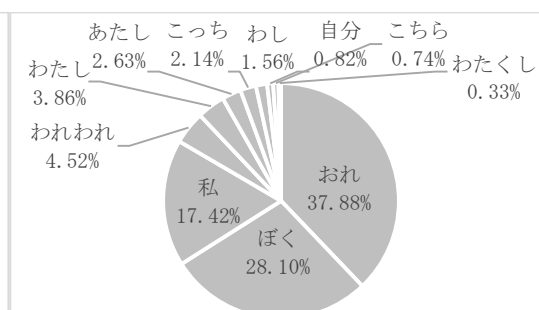


図3 男性の自称詞

今回のデータで自称詞は11種、2563例使用されている。そのうち、女性に8種、1346例使われ、男性に11種、1217例使われている。用例数が圧倒的に多い自称詞は「私」であり、使用率が全体の約三分の一を占めている。次に多く使われる自称詞は「おれ」「わたし」である。女性の自称詞の使用状況を見ると、「私」と「わたし」「あたし」の用例数が女性の使用する自称詞の9割以上を占めている。一方、男性は自称詞「おれ」を多く使い、「おれ」と「ぼく」の用例数が男性の使用する自称詞の6割以上を占めている。

黒須（2008）の分類方法を参考にして、各自称詞の男女別使用率によって、以下の3つのグループに分類する（以下同じ）。

表4 男女別使用率による自称詞の分類

A1	男女ともに使用する自称詞	女性使用率/男性使用率が21%～79%の自称詞	私、こっち、こちら、自分、わたくし
B1	主に女性が使用する自称詞	女性使用率が80%～99%の自称詞	わたし、あたし
	主に男性が使用する自称詞	男性使用率が80%～99%の自称詞	われわれ
C1	女性専用の自称詞	女性使用率が100%の自称詞	-
	男性専用の自称詞	男性使用率が100%の自称詞	おれ、ぼく、わし

A1 男女ともに使用する自称詞

A1グループに分類される自称詞は「私」「こっち」「こちら」「自分」「わたくし」である。

本稿では、小林（2016）の自称詞「こっち」の分類方法を用い、「こっち」「こちら」を自称詞として分類する。「こっち」「こちら」は話し手の領域に属する方向・場所・ある物を指し示すもの、「こちらこそ」などの決まり文句として使われるものではなく、「わたし」や「ぼく」に置き換えられ、一人称を示す自称詞である。

自称詞「こっち」「こちら」は使用場面、聞き手の性別にかかわらず使用されている。「こっち」は主に目上による目下に対する発話、社内の人と話すときに使われることが多い。同等関係の人同士の会話で用いられるが、例文①～②に示すように、目下が目上を非難する場合に2例使われる。また、自称詞「こっち」「こちら」と一緒に使用される文体からみれば、男女とともに使われる自称詞にしても、男性の方が普通体で使われる比率がより高い。

- ① あんたねえ、こっちがおとなしくしているからって、いい気にならないでよね。息子かなんか知らないけど、そんなに言うならしっかり自分でじいさんをつかまえておきなさいよ。

(『投資』 p. 55; 女性・28 歳・アドバイザー→男性・客の息子; 営業部員と客; 職場, 社外)

- ② こっちがいくらやめろったって、あのじいさん、自分からあの取引をやると言い張って聞かなかったんだかね

(『投資』 p. 55; 女性・28 歳・アドバイザー→男性・客の息子; 営業部員と客; 職場, 社外)

「私」の文体別の使用状況からみれば、男女差があまり見られない。

「わたくし」は個人場面よりも、職場場面で使用されることが多い。目上に対するときや社外の人と話すなどのあらたまった場面で用いられ、丁寧体で使われることが多いが、例文③のように社内の人に対するとき、普通体の中で使用される用例が 1 例見られる。

- ③ ねえ、藤見さん、わたくしもパソコンで、使えるようになるのかしら？

(『型屋』 p. 201; 女性・45 歳・経理→男性・30 代後半・新入社員; 職場, 社内)

「自分」については、「わたし」と置き換えても文意が変わらないという基準で認定する。

「自分」は丁寧度の高い男性の自称詞として用いる新しい用法があるが(荻野 2007)、今回のデータで「自分」が自称詞として 15 例使われ、個人場面で普通体で使い、職場場面で丁寧体で使う傾向が見られる。

B1 主に女性/男性が使用する自称詞

B1 グループに分類される主に女性が使う自称詞が「わたし」「あたし」であり、主に男性が使う自称詞が「われわれ」である。

「わたし」は男女を問わず、普通体より丁寧体とともに使用される比率がやや高いのに対して、「あたし」は女性であれ男性であれ、個人場面や親しい間柄の会話者の間で普通体で使用される割合がより高いため、「わたし」の方がフォーマル度が高いと言える。

また、「あたし」は国語辞典では、「[一人称]『わたし』のくだけた、親しみのある言い方。多く女性が使う」(『明鏡』)のように説明される。今回のデータにおいて、3 人の職階の高い男性が 32 例使用しており、普通体で 20 例使用している。いずれも職場場面で社内の年上の人が同等または年下の人に対して使用している用例であるが、地位が高い相手と話すときに、丁寧体で使用されているのが 12 例ある。

「われわれ」は「[一人称] 自分たちを指し示す語。わたしたち。『わたし [ぼく] たち』『われら』よりも改まった言い方」である(『明鏡』)。男性は「われわれ」を使うとき、例文④のように、普通体で使われる割合がより高く、職場場面で同等関係または目上による目下に対する発話が多い。男性は普通体で使うことが多いが、女性は「われわれ」を 5 例使い、丁寧体で 4 例使用し、例文⑤のように、職場場面で目上が目下に対して普通体で 1 例使用している。

- ④ 困ったな。我々も席に戻るよ

- (『合併』 p. 291; 男性・36 歳・副課長→男性・20 代・銀行員; 上司と部下; 職場, 社内)
- ⑤ そういうお客をいっぱい持っている人材っていうのは、われわれにとっては歓迎ね。
- (『投資』 p. 183; 女性・大手証券会社のアドバイザー→女性・28 歳・アドバイザー; 同業者; 職場, 社外)

C1 女性/男性専用の自称詞

女性専用の自称詞はなく、男性専用の自称詞は「おれ」「ぼく」「わし」がある。

男性専用の自称詞はいずれも普通体で使われる比率が 8 割以上である。「おれ」の用例数は圧倒的に多く、9 割以上が普通体の文体とともに使用されている。聞き手の性別にかかわらず使用されるが、目上には使われない。「ぼく」は「おれ」「わし」と比べて丁寧体で使われやすく、フォーマル度がより高い傾向が見られる。「わし」は 4 人の男性に 19 例使われており、そのうち 1 人は西日本出身の設定である。目下の相手に対して、尊大な感じを伴って用いる傾向が見られることによって、普通体で使われるのが一般的であるが、例文⑥のように、年配の男性が若くて地位の高い女性に冗談を言うときに丁寧体で使われるケースも 1 例出ている。

- ⑥ なに。フェラガモとグッチの品物が入るって。そんなことわしにはなんにも言わなかったではないか

(『蝶』 p. 148; 男性・68 歳・T 社の社長→男性・36 歳・T 社の専務取締役; 職場, 社内)

4-2 対称詞

出現する対称詞の合計用例数の多い順に並べ、男女に使用される各対称詞の用例数と割合を図 4、表 5 に示し、男女別の対称詞の使用状況を図 5、図 6 に示す。

図 4 対称詞の種類と用例数

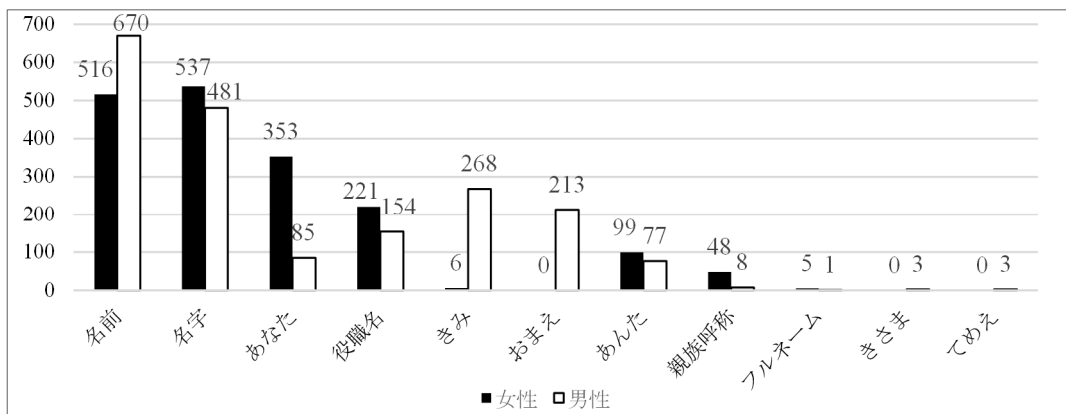


表 5 対称詞の用例数と男女別の使用率

対称詞	名前	名字	あなた	役職名	きみ	おまえ	あんた	親族呼称	フルネーム	きさま	てめえ	合計
女性	516	537	353	221	6	-	99	48	5	-	-	1785
女性/合計(%)	44%	53%	81%	59%	2%	-	56%	86%	83%	-	-	48%
男性	670	481	85	154	268	213	77	8	1	3	3	1963
男性/合計(%)	56%	47%	19%	41%	98%	100%	44%	14%	17%	100%	100%	52%
合計	1186	1018	438	375	274	213	176	56	6	3	3	3748

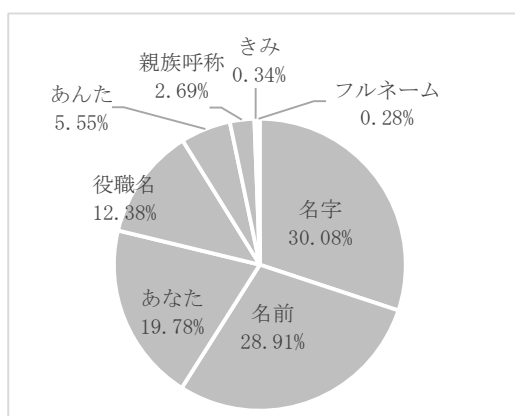


図 5 女性の対称詞

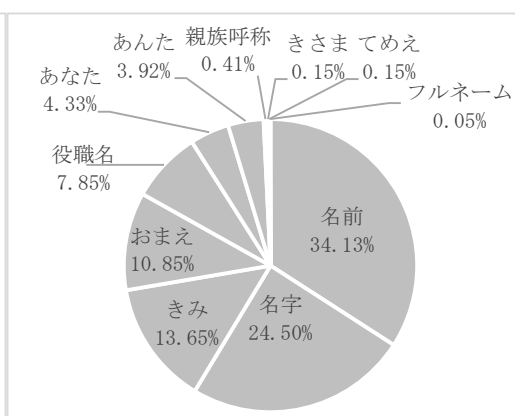


図 6 男性の対称詞

今回のデータで出現する対称詞は11種、3748例である。そのうち、女性に8種、1785例使われ、男性に11種、1963例使われている。使用例が最も多い対称詞は「名前」であり、そのうち名前の呼び捨てで呼ぶ用例数が最も多い。次に多く使われる対称詞は「名字」「あなた」である。

女性の対称詞の使用状況を見ると、「名字」「名前」「あなた」の用例数が多く、女性の使用する対称詞の用例数の8割弱を占めている。一方、男性は対称詞「名前」「名字」「きみ」「おまえ」を多く使い、男性の対称詞の使用例数の7割以上を占めている。

各対称詞の男女別使用率によって、以下の3つのグループに分類する。

表 6 男女別使用率による対称詞の分類

A2	男女ともに使用する対称詞	女性使用率/男性使用率が21%～79%の対称詞	名前、名字、役職名、あんた
B2	主に女性が使用する対称詞	女性使用率が80%～99%の対称詞	あなた、親族呼称、フルネーム

	主に男性が使用する対称詞	男性使用率が 80%～99%の対称詞	きみ
C2	女性専用の対称詞	女性使用率が 100%の対称詞	-
	男性専用の対称詞	男性使用率が 100%の対称詞	おまえ、きさま、てめえ

A2 男女ともに使用する対称詞

A2 グループに分類される対称詞は「名前」「名字」「役職名」「あんた」である。

対称詞「名前」について、男性の用例数は女性より多い。男女ともに「名前」で呼ぶことが最も多く、特に男性が使う「名前」の用例数の約半分は「名前のみ」である。次いで女性は「名前ちゃん」「名前さん」で呼ぶ用例数が多く、男性は「名前さん」「あだ名」で呼ぶ用例数が多い。「名前」に関する各形式はいずれも同等または目上が目下を呼ぶときに使われ、聞き手の性別を問わず使用される。「名前ちゃん」は女性を呼ぶときに多く使われるが、男性を呼ぶときに使用する場合は家族や仲の良い友達を呼ぶのが一般的である。「名前くん」は親しい男性を呼ぶ際によく使われるが、職場で年配の男性が社内の若い女性を呼ぶときに 3 例使用されている。

女性は「名前」よりも「名字」で相手呼ぶ用例が多い。男女ともに「名字さん」で呼ぶことが最も多く、特に女性が「名字さん」を使う用例数が圧倒的に多い。「名字さん」は話し手と聞き手の年齢、性別にかかわらず使用され、職場場面で一般的な呼び方である。「名字のみ」は 142 例使用され、いずれも普通体の中で使用されている。そのうち 2 人の女性が 15 例使用しており、すべて親しい友達を呼ぶ際に使用する用例である。また、「名字くん」は職階が同等または低い相手に対してあらわれやすい(国立国語研究所報告 73 1982)。一般的に男性を呼ぶときに用いられるが、本稿のデータでは、女性が「名字くん」で呼ばれるのは 44 例あり、すべて職場場面で男性上司が女性部下を呼ぶときに使用している。ただし、女性同士の間では 1 例も使用されていない。「名字ちゃん」が男性を呼ぶときに使われる用例は 1 例しかない。「名字さま」はすべて職場場面で使われ、お客さんを呼ぶときの尊敬表現である。また、例文⑦のように「名字ちゃん」が男性を呼ぶときに 1 例使われている。

⑦ それに坂上ちゃんも、黙っていないで、自分の口からちゃんとプロポーズなさいよ

(『投資』p. 301; 男性・48 歳・営業課長→男性・37 歳・営業部員; 上司と部下; 職場, 社内)

「役職名」の出現形式が多く、男女差がほとんど見られない。丁寧体で使用し、より尊敬の気持ちを表す傾向が見られる。

「あんた」は一般的に普通体で使用され、自分と同等または目下に使用される。相手を非難したり、命令したりするときに使われることが多く、親しみを表すためにも使われる。女性は家族や友達など親しい相手に対して使うが、男性は会社内でも使用している。

B2 主に女性/男性が使用する対称詞

B2 グループに分類される主に女性が使用する対称詞は「あなた」「親族呼称」「フルネー

ム」であり、主に男性が使用する対称詞は「きみ」である。

文体別の使用状況から見れば、「フルネーム」以外の対称詞は丁寧体よりも普通体で使われる割合が高い。対称詞「フルネーム」が用いられる 6 例のうち、「フルネームさん」は丁寧体で 4 例使用される一方、「フルネームのみ」は普通体で 2 例使用されている。「フルネームさん」を丁寧体で使う場合は、見慣れない人を探したり、公文書を読み上げたり、相手の注意を引いたりするために使う。例文⑧のように、相手を「フルネームのみ」で呼ぶ場合は、普通体で使い、怒りや不満を表現するのが一般的である。

⑧ でも、この男はほんとうにヒモなわけじゃない。だって長谷川は、相沢芽夢、あんたの。

あんたの彼氏だ。借金持ちの

(『トッカン』 p. 266; 友達同士; 個人)

「あなた」は軽い敬意を表し、目下や自分と同等の人を呼ぶ場合、普通体で使われることがやや多い。

「親族呼称」の呼び方で家族を呼ぶ場合は普通体で使うことが一般的であり、例文⑨のように丁寧体で使うのは 3 例である。

⑨ わたしね、働いたお金も香港の銀行に預金してあるしさ、お母さんは英語も喋れるし新聞だって読めるでしょう。

(『蝶』 p. 293; 娘と母; 個人)

また、主に男性が使う対称詞「きみ」は普通体で使用される傾向が見られる。男性がよく用いるが、本研究のデータでは女性に 6 例使われており、目下の男性を呼ぶときに 5 例、目下の女性を呼ぶときに 1 例用いられている。

C2 女性/男性専用の対称詞

男性専用の対称詞は「おまえ」「きさま」「てめえ」であり、女性専用の対称詞はない。

男性専用の対称詞は相手の性別にかかわらず使用され、職場場面では上司が部下を呼ぶときに使用され、個人的な場面では、家族、友達など親しい間柄の人に使われている。

5 終助詞

今回のデータで得られた終助詞を整理し、男女用例数の合計数の多い順に並べ、各終助詞が男女に使用される用例数と割合を図 7、表 7 に示す。男女別の終助詞の使用状況を図 8、図 9 に示す。

図 7 終助詞の種類と用例数

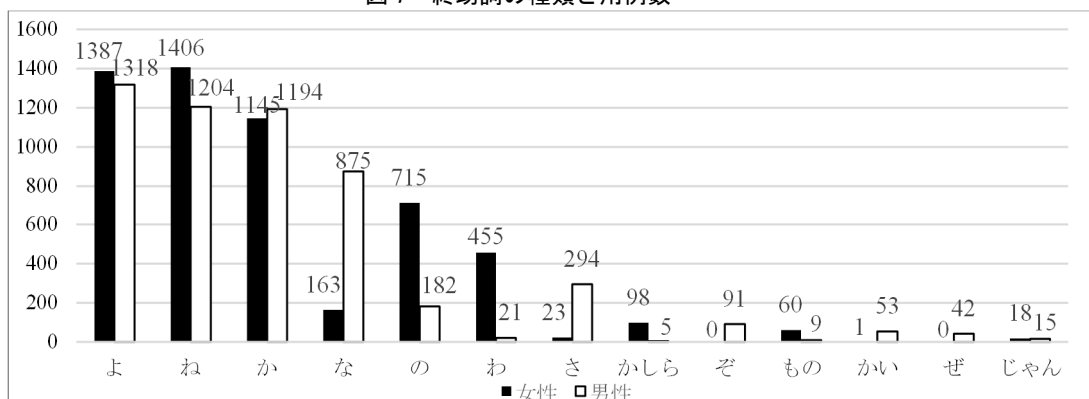


表 7 対称詞の用例数と男女別の使用率

終助詞	よ	ね	か	な	の	わ	さ	かしら	ぞ	もの	かい	ぜ	じゃん	合計
女性	1387	1406	1145	163	715	455	23	98	-	60	1	-	18	5471
女性/合計(%)	51%	54%	49%	16%	80%	95%	7%	95%	-	87%	2%	-	55%	51%
男性	1318	1204	1194	875	182	21	294	5	91	9	53	42	15	5303
男性/合計(%)	49%	46%	51%	84%	20%	4%	93%	5%	100%	13%	98%	100%	45%	49%
合計	2705	2610	2339	1038	897	476	317	103	91	69	54	42	33	10774

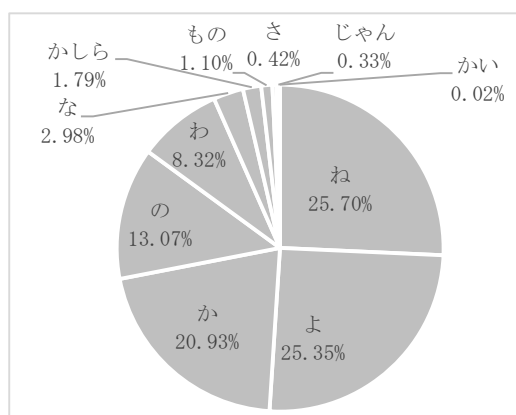


図 8 女性の終助詞

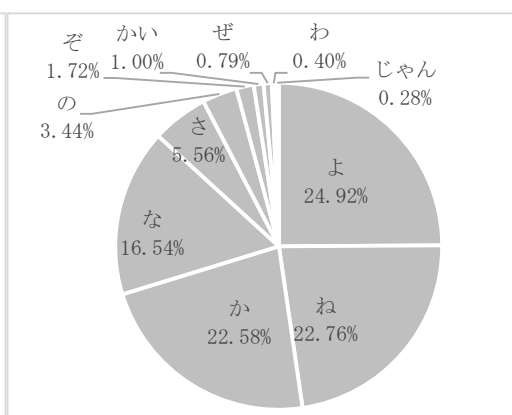


図 9 男性の終助詞

今回のデータで使われている終助詞は 13 種、10774 例であり、そのうち女性は 11 種、5471 例使用し、男性は 13 種、5303 例使用している。「よ」「ね」「か」は男女ともに用例数が多く、全体の 7 割を占める。

各終助詞の男女別使用率によって、以下の 3 つのグループに分類する。

表 8 男女別使用率による終助詞の分類

A3	男女ともに使用する終助詞	女性使用率/男性使用率が 21%～79%の終助詞	よ、ね、か、じゃん
B3	主に女性が使用する終助詞	女性使用率が 80%～99%の終助詞	の、わ、かしら、もの
	主に男性が使用する終助詞	男性使用率が 80%～99%の終助詞	な、さ、かい
C3	女性専用の終助詞	女性使用率が 100%の終助詞	－
	男性専用の終助詞	男性使用率が 100%の終助詞	ぞ、ぜ

A3 男女ともに使用する終助詞

A3 グループに分類される終助詞は「よ」「ね」「か」「じゃん」の 4 つある。

「じゃん」は男女を問わず、すべて普通体で使用され、同等関係または目上による目下に対する発話で使われる。「よ」「ね」の前に普通体が接する割合は、男女いずれも、丁寧体よりも高い一方、「か」を使用する文体について、女性の用例数の 9 割弱が丁寧体、男性の用例数の約 6 割が普通体である。中でも、女性は疑問の気持ちを表す「ですか(?)」を使う用例数が半分以上を占め、男性は「か(?)」の用例数が最も多い。

また、「よ」「ね」は男女ともに普通体で使用する割合が高いが、終助詞の使用状況をまとめると性差が見られる。「ですよ」「ますよ」など、丁寧体に接する用法は中性的表現とされる。一方、女性は「のよ」「わよ」をよく使い、男性は「かよ」「な(禁止)よ」を多く使う。しかも「な(禁止)よ」はすべて男性に使用されている。

女性も男性も「普通体+ね」の形で最も多く使用している。「わね」「よね」「のね」は女性に多く使用される一方で、「かね」は主に男性に使われる。「なのね」「わよね」は男性に使用されず、女性専用である。また、例文⑩～⑪に示すように、「わよ」「わね」といった女性専用とされる終助詞は、それぞれ男性に 4 例、2 例使用されているが、すべて年上の男性による 20 代の女性に対する発話である。

⑩ ねえねえ、こんどは若い男がやって来たわよ。それもすごい剣幕で……

(『投資』p. 50; 男性・48 歳・営業課長→女性・28 歳・営業部員; 上司と部下; 職場, 社内)

⑪ 応えるのに思案するようじゃ、惚れてはいないわね

(『型屋』p. 314; 男性・IT 企業の社長→女性・29 歳・型屋の社長; 職場, 社外)

B3 主に女性/男性が使用する終助詞

B3 グループに分類される主に女性が使用する終助詞は「の」「わ」「かしら」「もの」であり、主に男性が使用する終助詞は「な」「さ」「かい」である。

例文⑫～⑬のように、「わ」「かしら」女性語とされてきた終助詞は、それぞれ男性に 22 例、5 例使われている。使用状況についてみると、終助詞「わ」が 14 人の男性に使われ、職場場面で 18 例、個人場面で 3 例使用されている。「かしら」は 2 人の男性に 5 例使われ、すべて職場場面での発話である。男性は個人場面や、職場場面では聞き手の肩書にかかわらず、社内の年下または同等関係の相手に対して、女性的な終助詞を使う傾向が見られる。

⑫ うそっ、誰か来たわ

(『投資』 p. 14; 男性・37 歳・営業部員→女性・28 歳・営業部員; 恋人; 個人)

⑬ でもねえ、株価の下げ要因としては、なにがあるのかしら？

(『投資』 p. 43; 男性・48 歳・営業課長→女性・28 歳・営業部員; 上司と部下; 職場, 社内)

また、「な」「さ」「かい」などの男性語がそれぞれ女性に 163 例、23 例、1 例使用されている。女性は「かな」「な (感動)」「よな」を使用するが、禁止の意味である終助詞「な」を使わないため、「な (禁止)」は男性専用である。さらに、「かい」は例文⑭のように女性に 1 例使用されている。女性による「な」「さ」「かい」の用例からみると、年下または同等関係の人を相手にする場面に限られ、女性が男性的な終助詞を使う傾向が見られる。

⑭ 二代目がはりきっていろいろとやろうとしてるらしいけどさ、うまくいくのかい？

(『凸凹』 p. 55; 女性→女性・22 歳; 知らないおばさんと若い女性; 個人)

C3 女性/男性専用の終助詞

上記 A3、B3 グループについて述べたように、「なのね」「わよね」は女性専用、「な (禁止)」「な (禁止) よ」は男性専用の終助詞である。それ以外に、今回のデータによって、「ぞ」「ぜ」も男性専用の終助詞である。

女性専用または男性専用の終助詞は職場場面でも個人場面でも使われており、話し手と聞き手が同等関係である使用例が最も多い。職場場面では、主に目上による目下に対する発話、同等関係の人たちの会話であり、個人場面では、同等関係の人同士の会話が主となる。しかしながら、例文に示すように、終助詞「なのね」は目下と目上との会話に 1 例使用されており、個人場面における女性と親の会話である。

⑮ 若い子たちは、こうしたイベントが好きなのね。いろいろ持ち出しで頑張るのよ。

(『ブック』 p. 209; 女性・40 歳・娘→男性・60 代・父; 個人)

また、男性専用の終助詞が使用されるとき、男性専用の人称詞「おれ(10 例)」「ぼく(1 例)」「おまえ(5 例)」「きさま(1 例)」と一緒に用いられる傾向が認められる。

6. まとめ

以上、本稿では、ことばの性差の使用実態を明らかにすることを目的として、1989 年から 2017 年にかけての業界が異なる 10 冊の経済小説を調査資料として、人稱詞と終助詞の観点から男女の発話を調査し、男女別の使用状況を考察して、以下の結論を得た。

- (1) 話し手と聞き手の年齢、社会的地位によって使用する人稱詞、終助詞に男女差が見られるが、業界によることばの性差はあまり見られない。社外の人と話すよりも、社内の人と話す方がことばの男女差が明らかになる。
- (2) 男女ともに使用することばについて、男性は普通体、女性は丁寧体で使うことが多い。
- (3) 女性専用の人稱詞、終助詞が見られず、女性語の表現が少なくなり、男性が柔らかい表現を使う傾向が見られる。

(4) 社会的地位の高い女性がやや強い男性的な表現を使っているが、人称詞「ぼく」「おれ」「わし」「おまえ」「きさま」「てめえ」、終助詞「な(禁止)」「ぞ」「ぜ」を使わず、ことばの性差が存在している。

今回調査した経済小説の女性主人公は職階や社会的地位が異なるが、すべて 20、30 代の若者であり、年配の女性の発話が少ないため、今後は年配の女性の発話が多い作品における言葉の男女差と、各年代のことばの性差の特徴について考察していくことを目指したい。

注

- (1) 人称。会話をしている人たちを指す自称詞と対称詞であり、他人を指す他称詞を考察していない。「彼」「彼女」「あの人」などの代名詞は除外する。
- (2) 『日本語話し言葉コーパス』、『日常会話コーパス』(2017 年 4 月 14 日時点でのデータ)、『名大会話コーパス』(2017 年 4 月 4 日時点でのデータ)、『女性の言葉・男性の言葉(職場編)』、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に収録されている小説のサンプルの会話文(2017 年 7 月 4 日時点でのデータ)。
- (3) 名前や年齢、性別、職業などの情報が明記されている主要登場人物の数。
- (4) 各小説の表記方法によって、「私」で表記されることがあり、読み方が確認できないため、表記のままで分類する。
- (5) 「お客さん」「おじさん」のように社会的地位や親族呼称から拡大した呼び方と職業上の呼び方を併せて示す。

調査資料

青木 祐子 (2016) 『これは経費で落ちません！～経理部の森若さん～』 集英社
碧野 圭 (2007) 『ブックストア・ウォーズ』 新潮社
池井戸 潤 (2017) 『花咲舞が黙っていない』 中央公論新社
上野 歩 (2015) 『わたし、型屋の社長になります』 小学館
江上 剛 (2008) 『合併人事 二十九歳の憂鬱』 幻冬舎
幸田 真音 (2002) 『投資アドバイザー有利子』 角川書店
清水 一行 (1997) 『別名は“蝶”』 集英社
高殿 円 (2010) 『トッカン 特別国税徴収官』 早川書房
群 ようこ (1989) 『無印 OL 物語』 角川書店
山本 幸久 (2005) 『凸凹デイズ』 文藝春秋

参考辞典

北原保雄編 (2021) 『明鏡国語辞典 第三版』 大修館書店

参考文献

- 大谷伊都子 (2015)「漫画における男女の文末表現:少女向けコミック誌と少年向けコミック誌の比較」『梅花女子大学短期大学部研究紀要』63号, pp. 9-22
- 小川早百合 (2006)「話しことばの終助詞の男女差の実際と意識:日本語教育での活用へ向けて」日本語ジェンダー学会編『日本語とジェンダー』pp. 39-51
- 荻野綱男 (2007)「最近の東京近辺の学生の自称詞の傾向」『計量国語学』25巻8号, pp. 371-374
- 郭宏飛 (2015)「経済小説における二人称代名詞の使用実態についての考察:池井戸潤の作品を中心に」『国学院大学日本語教育研究』6号, pp. 83-100
- 黒須理紗子 (2008)「女ことば・男ことばの研究:差異と変遷」『日本文学』104巻, pp. 187-203
- 現代日本語研究会[編] (2011)『合本女性のことば・男性のことば(職場編)』ひつじ書房
- 国立国語研究所(1982)『企業の中の敬語』三省堂
- 小林美恵子 (2016)「「日常生活」における自称詞」遠藤織枝・小林美恵子・佐竹久仁子・高橋美奈子編『談話資料 日常生活のことば』pp. 41-72
- 中村桃子[編] (2010)『ジェンダーで学ぶ言語学』世界思想社
- 水本光美 (2015)『ジェンダーから見た日本語教科書:日本女性像の昨日・今日・明日』大学教育出版
- 諸星美智直 (2013)「ビジネス日本語教材としての経済小説」『国学院大学日本語教育研究』4号, pp. 1-16
- 山崎誠 (2017)「レジスター・位相の違いによる会話文の語彙的多様性」『言語資源活用ワークショップ発表論文集』2巻, pp. 278-289

—国学院大学大学院博士前期課程—